

# 2020年度第1四半期 決算説明資料



2020年8月5日

**M** **mitsui E&S**

三井E&Sホールディングス



(単位：億円)

	19年度1Q	20年度1Q	増減
受注高	1,026	2,528	+1,502
売上高	1,601	1,608	+7
営業利益	22	▲151	▲173
(営業利益率)	(1.4%)	(▲9.4%)	—
経常利益	40	▲139	▲179
(経常利益率)	(2.5%)	(▲8.6%)	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	24	▲85	▲109

<期中平均為替レート>

USDドル	110.16円	108.64円
-------	---------	---------

# 2020年度第1四半期 セグメント別決算概要

(単位：億円)

	受注高			売上高		
	19年度1Q	20年度1Q	増減	19年度1Q	20年度1Q	増減
船舶	92	173	+81	230	227	▲3
海洋 開発	121	1,592	+1,471	582	806	+224
機械	527	451	▲76	398	323	▲75
エンジニア リング	126	78	▲48	159	82	▲77
その他	160	234	+74	232	170	▲62
合計	1,026	2,528	+1,502	1,601	1,608	+7

# 2020年度第1四半期 セグメント別決算概要

(単位：億円)

	営業利益			経常利益		
	19年度1Q	20年度1Q	増減	19年度1Q	20年度1Q	増減
船舶	▲16	▲2	+14	▲17	▲1	+16
海洋 開発	2	▲121	▲123	18	▲108	▲126
機械	12	5	▲7	12	6	▲6
エンジニア リング	12	▲35	▲47	10	▲30	▲40
その他	13	1	▲12	16	▲7	▲23
合計	22	▲151	▲173	40	▲139	▲179

## ■ 大型石炭火力発電所土木建築工事の状況

プロジェクト	地域	工事進捗率		契約納期
		19年度 4Q	20年度 1Q	
A	ベトナム	99.9%	99.9%	2019年度
B	インドネシア	約79%	約79%	2020年度
C	インドネシア	約93%	約96%	2021年度

A 主にパートナー所掌の残工事があり、2020年度2Qに完成予定

B 新型コロナウイルス感染症の影響により工事を中断したが、  
現在、再開に向けて協議中  
(引当金残高:194Q 818億円 ⇒ 201Q 798億円)

C 新型コロナウイルス感染症の影響により  
工事進捗に一時的な低下があるものの、想定の範囲内にて推移

(単位：億円)

	期初見通し (2020/5/12)	今回見通し (20年度)	増減
受注高	5,500～ 7,500	5,500～ 7,500	0
売上高	6,300	6,300	0
営業利益	▲100	▲100	0
経常利益	▲70	▲70	0
親会社株主に帰属する 当期純利益	0	0	0

- ※ 前回発表から変更はございません
- ※ 前提為替レート US\$ = 110円
- ※ US\$ 1円の円高が営業利益に与える影響⇒約 1 億円の改善

(単位：億円)

	受注高	売上高	営業利益	経常利益
船舶	900	900	▲10	0
海洋 開発	2,000～ 4,000	2,800	▲200	▲130
機械	1,800	1,700	100	100
エンジニアリング	200	300	▲10	▲40
その他	600	600	20	0
合計	5,500～ 7,500	6,300	▲100	▲70

※ 前回発表から変更はございません

# 参考) 2020年度第1四半期 損益計算書の概要

(単位：億円)

	19年度1Q	20年度1Q	増減	
売上高	1,601	1,608	+7	
<b>売上総利益</b>	<b>154</b>	<b>▲43</b>	<b>▲197</b>	三井海洋開発が新型コロナウイルス感染症によるコスト増加を織り込んだことにより減少
販売費及び一般管理費	132	108	▲24	
<b>営業利益</b>	<b>22</b>	<b>▲151</b>	<b>▲173</b>	
営業外収益	38	27	▲11	
営業外費用	20	15	▲5	
<b>経常利益</b>	<b>40</b>	<b>▲139</b>	<b>▲179</b>	
特別利益	0	24	+24	市原グリーン電力株式の売却などにより増加
特別損失	4	32	+28	千葉工場用地にかかる原状回復費用計上などにより増加
<b>税金等調整前 四半期純利益</b>	<b>36</b>	<b>▲147</b>	<b>▲183</b>	
法人税等	13	▲8	▲21	
非支配株主利益	▲1	▲54	▲53	
<b>親会社株主に帰属する 四半期純利益</b>	<b>24</b>	<b>▲85</b>	<b>▲109</b>	

# 参考) 2020年度第1四半期 貸借対照表の概要

(単位：億円)

	19年度	20年度1Q	増減	
<b>資産合計</b>	<b>8,404</b>	<b>7,968</b>	<b>▲436</b>	
(現金預金)	1,184	1,056	▲128	
(売上債権)	2,824	2,661	▲163	
(有形・無形固定資産)	1,878	1,693	▲185	千葉工場用地の売却により減少
<b>負債合計</b>	<b>7,350</b>	<b>7,164</b>	<b>▲186</b>	
(前受金)	840	985	+145	
(受注工事損失引当金)	985	971	▲14	
(有利子負債)	1,739	1,533	▲206	
<b>純資産合計</b>	<b>1,054</b>	<b>805</b>	<b>▲249</b>	
(自己資本)	644	487	▲157	

自己資本比率	7.7%	6.1%	-	
D/Eレシオ	2.7倍	3.1倍	-	

## 新造船受注内訳 (三井E&S造船)

(単位: 隻)

	受注 (2020年度 1Q累計)	引渡 (2020年度 1Q累計)	受注残
一般商船	0	6	5
艦船・官公庁船	1	0	8
合計	1	6	13

## 船用ディーゼル機関 (三井E&Sマシナリー)

	2019年度 1Q累計		2020年度 1Q累計		2020年度予想	
	基数	馬力数 (万馬力)	基数	馬力数 (万馬力)	基数	馬力数 (万馬力)
受注	87	162	64	118	—	—
売上	54	109	35	75	—	—
受注残	168	317	126	288	—	—
生産実績	55	104	38	92	165	375



# MITSUMI E&S

社会に人に信頼されるものづくり企業であり続けます

To continue working as a company trusted by society and individual through products and services we offer

本資料のうち、当社の業績見通し、目標、計画、戦略等には将来に関する記述が含まれております。これらは現時点で把握可能な情報に基づき当社が合理的に判断した見通しであり、既知、未知のリスクや不確実性を含んでおります。従いまして、将来における当社の実際の業績または展開が大きく異なる可能性がございます。